



赤い羽根共同募金作文・ポスター作品コンクール 2018 優秀賞

赤い羽根募金の大切さ

大深内中学校 3年 柴咲航輔

僕は赤い羽根共同募金は大切だと思う。なぜなら、募金をすると、した方は良いことをしたという達成感が味わえるし、された方も感謝の気持ちが生まれてくるからだ。赤い羽根共同募金では、募金したお金を高齢者サロンの運営やボランティア活動の費用から、障がい者の共同作業所の車両整備や社会福祉施設の改修まで、さまざまな民間の地域福祉活動を支援していると聞いた。僕が普段行っている町内会の活動や子供会などの活動にも赤い羽根共同募金から助成金が出ていると初めて知った。このように身近な事に関係しているということが分かると、赤い羽根共同募金に親近感を感じる。

赤い羽根共同募金では、募金をすると赤い羽根をもらうことができるが、その意味が素晴らしいと思った。赤い羽根はアメリカなどで「勇気」や「良い行い」の象徴とされていることが由来と言われている。僕は赤い羽根共同募金に何度も募金し、その度に赤い羽根をもらうが、いつも良い行いをしたという達成感や誇らしさを感じる。

僕の学校では、毎年10月に行われる文化祭で赤い羽根共同募金を行っている。僕は、「募金お願いします。」と呼びかける度に、何かいい事をしているような気分になり、楽しく感じる。募金箱に少しずつ貯まってくると、達成感が湧いてきて、このお金で、もっと地域が活性化するのだと思う。

募金を集める時には自然とコミュニケーションが生まれる。募金をしてくれる人は「お疲れさま。」などと声をかけてくれる。それに対して、「ありがとうございます。」と僕は答える。そうすることで地域の人達とさらに交流が深まると思う。募金をする時には、募金をする人も集める人もなぜか、自然と笑顔になっている。やはり、募金には人の心を動かすような不思議な力があると思う。だから僕はもっと多くの人に募金をしてもらいたいと思う。

僕は、今まで使い道をぼんやりとしか意識していなかったが、その目的を知ることによって募金への意識は変わってきた。ぜひ、多くの人にこのことを知って欲しい。そしてほんの少しの協力でもその小さな1歩によって、地域社会への貢献などへの手助けになる事を意識しつつ、これからももっと募金に協力的になっていきたいと思う。